

広
報

はちまんたい

hachimantai

3

Mar.2012

No.146



2冠王者誕生

— 小林陵侑君・全国中学校スキー大会優勝 —

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

県スキー技術選手権大会優勝
全日本スキー技術選手権大会へ

藤澤 利佳さん

ふじさわ・りか 32歳 安比高原



◎profile

昭和54年八幡平市(旧松尾村)生まれ。大学まで競技スキーを続け、平成15年から安比スキー&スノーボードスクールに勤務。SAJデモンストレーターに認定されている。血液型A B型のかに座。

自らの滑りに磨きかけ スキーの魅力伝えたい

ライバルには負けたくない。ピオンとして、全日本選手権に行くことができてほっとしている。

1月28、29日に雫石町で行われた県スキー技術選手権大会(技術選)、女子個人総合で見事連覇。全日本スキー技術選手権大会(3月6日)、長野(野郎)の切符をつかみ、藤澤さんは安堵の表情を浮かべた。3歳からスキーを始め、中学校から競技スキーに取り組んだ藤澤さん。大学を卒業し、競技生活に区切りを付け、目

標を見失いかけたときに、技術選というものを知った。

タイムだけを競うレースと違い、ゲレンデのあらゆるコンディションに合わせて、いかにスピードを殺さず、きれいなターンを描くかなど、総合的な滑りを競うのが技術選。「ジャッジする人によつて見方も違い、奥が深い」と藤澤さんも話すように、レース経験者でも大会で入賞することは難しい。初めて出場した県選手権では、予選通過できず「とても悔しかった」という藤澤さんは、その当時働いて

いた会社を辞め、スキーに没頭できる環境を求めて安比スキー&スノーボードスクールに就職。人に教えるために滑りを勉強し、自らの技術を磨いていった。次の年から今年まで9年連続で予選を突破している。また、おとしには同スクールで働く弘之さんと結婚。お互い切磋琢磨し、昨年からは2年連続で夫婦での全日本選手権出場を決めた。技術選の聖地・白馬八方尾根で「納得できる滑りをした。決勝の舞台を滑る緊張感を味わってみたいが、まずは準決勝に進むことが目標」の藤澤さんは「スキーは私の人生の一部。年齢を重ねてもずっと続け、一人でも多くの人にスキーの楽しさを伝えたいですね」と夢を語った。

広報 はちまんたい
Mar.2012 No.146

CONTENTS

●目次

- 02 Zoom Up 人 藤澤利佳さん
- 03 特集 全国中学校スキー大会 絆をチカラに夢つかむ
- 08 Sports 各種ウィンタースポーツ大会で市の選手大活躍
- 09 3月は自殺対策強化月間
- 10 NEWS&INFORMATION
アナログ放送は3月31日で終了/国道282号西根バイパス3月16日から一部開通/年度末と年度初めの日曜日に本庁舎の窓口臨時開庁/新しい市農業委員会長に松村勝彦さん選任/小山田邦男さん交通栄誉「緑十字銀章」受賞
- 12 話題ピックアップ
三ヶ田礼一杯市ジュニアスキー選手権大会/松川一の宮太鼓結成25周年記念演奏会 ほか
- 14 福祉ネットワーク
保健のひろば 環境のみらい 介護のココロ
- 15 まちの企業探検隊⑥
南八幡平精工
われらスポーツ少年団No.21
松尾中学校ソフトテニススポーツ少年団
- 16 博物館だより 図書館だより
- 17 よろこび おくやみ
人口の動き 交通事故件数など 広報クイズ
- 18 INFORMATION お知らせ
- 20 八幡平にしえの宝
フクジュソウ



今月の表紙

第49回全国中学校スキー大会は2月1日から4日まで北海道などで行われ、小林陵侑君(松尾3年)が大会史上2人目、県勢では初のジャンプ・コンバインド競技の2冠を達成しました。【写真=1月23~25日に市で開かれた東北中学校スキー大会での小林君。関連記事3~8頁】



スペシャルジャンプ 優勝
コンバインド 優勝

小林陵侑 ことばやし・りょうゆう
松尾3年 柏台三丁目



クロスカントリー女子クラシカル 3位
フリー 10位

土屋正恵 つちや・まさえ
安代3年 五日市2区

特集 全国中学校スキー大会

絆をチカラに 夢つかむ

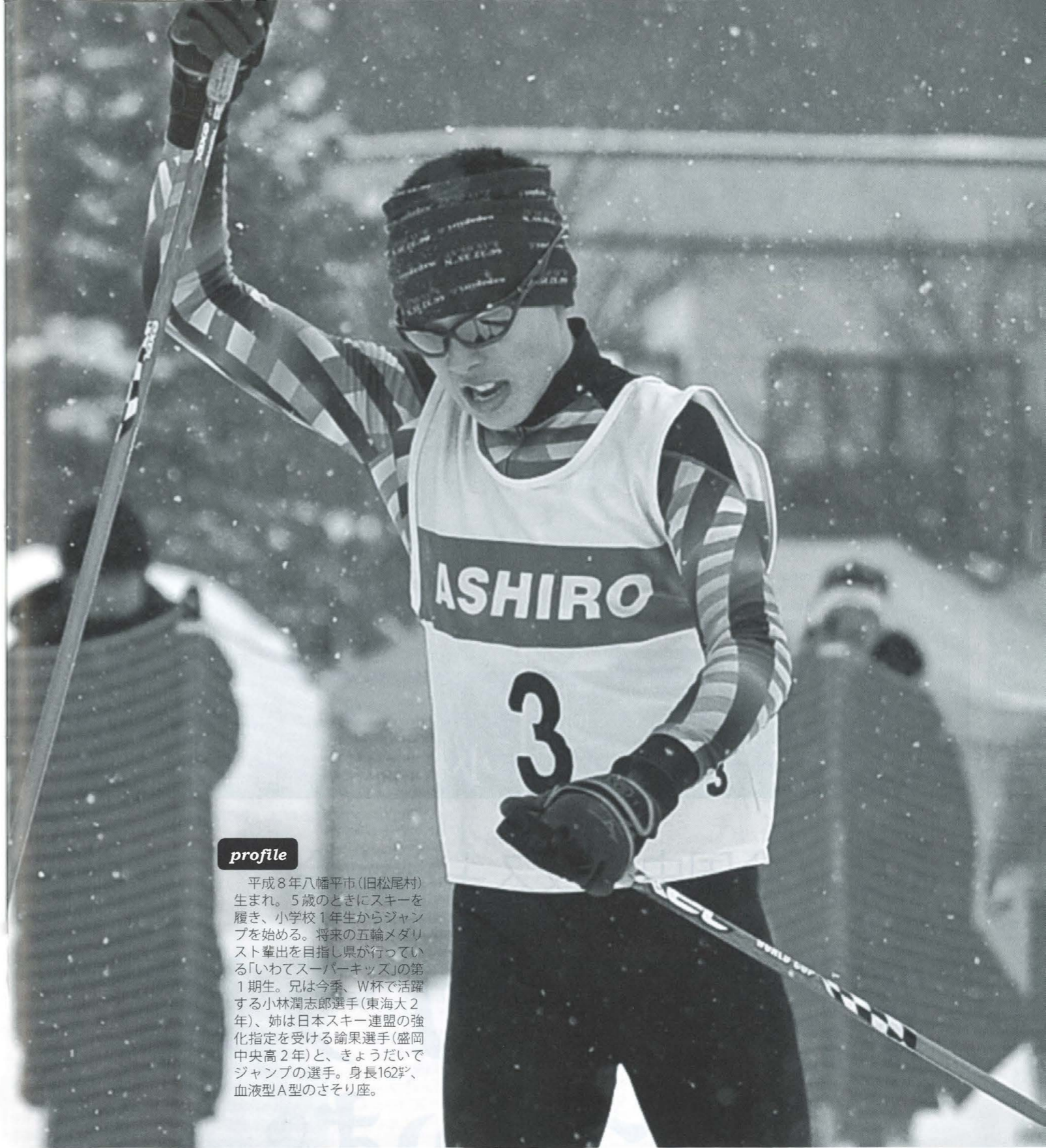
2月1日から4日まで北海道などを舞台に開かれた第49回全国中学校スキー大会。

小林陵侑君(松尾3年)がスペシャルジャンプとコンバインド競技で優勝、

土屋正恵さん(安代3年)がクロスカントリー競技クラシカル3位、フリー10位入賞を果たした。

さまざまな人たちの支えをチカラに変え、全国の舞台上で夢をかなえた2人に話を聞いた。

(特集7頁まで)



profile

平成8年八幡平市(旧松尾村)生まれ。5歳のときにスキーを履き、小学校1年生からジャンプを始める。将来の五輪メダリスト輩出を目指す県が行っている「いわてスーパーキッズ」の第1期生。兄は今年、W杯で活躍する小林潤志郎選手(東海大2年)、姉は日本スキー連盟の強化指定を受ける諭果選手(盛岡中央高2年)と、きょうだいでジャンプの選手。身長162cm、血液型A型のさそり座。

Special Jump&Combined

小林陵侑

Kobayashi Ryoyu

先生と二人三脚で つかんだ2冠は 史上2人目の快挙

小

林陵侑君(松尾3年)が、名寄市で開かれたスペシャルジャンプとコンバインドでともに優勝した。大会史上2人目、県勢では初の2冠達成だ。スキーの聖地・八幡平市から、全国中学王者が誕生した。

これまで、県勢でこの大会の同競技に優勝したのは合わせて4人。いずれも八幡平市出身の選手だ。小林君の優勝は、スペシャルジャンプが第32回大会の畠山拓浩選手(田山)以来、17年ぶり2回目。コンバインドは、第36回大会の永井秀昭選手(田山)、第38回的小林巧選手(安代)、第40回の畠山長太選手(安代)に続き4人目で、9年ぶりの快挙である。

今季一番のジャンプで 1本目3位からの逆転V

2月2日、名寄ピアシリジャンツエ(HS74)で、K点65mで行われたスペシャルジャンプ競技。小林君は1本目、「飛び出しのタイミングが合った」とK点越えの71mを飛び3位につける。勝負の2本目、小林君のスタートのとき、下から絶好の向かい風が吹き上げた。この風を捉えると、高く飛び出したジャンプはぐんぐん伸び、「今季最高のジャンプ」は最長不倒の74mをマークし、逆転で優勝を飾った。

「こっち(名寄市)に来てから練習でも調子良く、そのイメージで本番に臨めた。6位以内に入れば良いなと思っていたので、まさか優勝できるとは」。今シーズン、W杯ジャンプで健闘を続ける兄・潤志郎選手でも達成できなかった全国中学校大会で、表彰台の中央に立った。

前半リードを守りきり 悲願のコンバインド制覇

翌3日のコンバインド競技。前日の勢いそのままに、小林君は前半のジャンプで69mの飛躍。飛型も決めてトップに立つ。そして迎えた後半クロスカントリ、2・5kmを2周するコースに対し、指導する永井陽一先生は「1周目は8割で抑えながら、2周目は全力で行け」と指示した。約1分あった後続との差は、1周目で40秒詰められ、さすがに焦つ

たそうだが、2週目は必死でリードを守り切りゴール。「狙っていただけにうれしかった」。悲願のコンバインドも勝利し、優勝者に与えられる「キング・オブ・スキー」の称号を手にした。

同じ競技の先輩である 先生とつかみ取った栄光

前回の大会では、2年生ながらコンバインドで3位。手応えを感じた小林君は「3年生最後の全中は優勝」を誓った。そこから「1年間のほとんどの日は一緒だった」と永井先生も話す。春先は八幡平の頂上の残雪でフォームチェックや滑り込みを行った。夏場は、サマージャンプやローラーズスキー、陸上の大会に出場した。自身も同じ競技を続け、団体など優勝経験も持つ永井先生自ら共に走り、飛んで、練習に付き合っ手本を示した。また、昨年の11月から12月にかけて、県スキー連盟主催のフィンランドの強化合宿に初めて参加し、いち早く雪上でのトレーニングも行うことができたのも大きかった。

小林君が「2冠達成できたのは3年間、永井先生をはじめ、普段の生活から協力してくれたみんなのおかげ」と感謝すると、永井先生は「努力を続けることを覚え、自分についてきてくれた。時間を大切にしていって日々のトレーニングを一生懸命やってきた成果だ」と強調した。



自身も同じコンバインド選手として競技を続ける永井陽一監督(写真左)。3年間、つきっきりで小林君の指導に当たった。



2月20日に松尾中学校で行われた優勝報告会では、全校生徒・教職員らが2冠の快挙を祝福した。



profile

平成8年八幡平市(旧安代町)生まれ。小学校3年生のとき、教育実習で来た先生が教えながら滑る姿を見てあこがれ、クロスカントリー競技を始める。安代中学校では、1年生のときから全国大会に出場。今シーズンは、県中学校スキー大会でクラシカル・フリーの2冠に輝くなど、ほとんどの大会で入賞。尊敬する人は田中ゆかり選手。父・母・兄の4人家族。身長150センチ、血液型B型のいて座。

Cross Country

土屋正恵

Tsuchiya Masae

努力を積み重ね 有言実行の滑りで 岩手の強さを示す

1 50センチの小さな体に秘められた大きなパワーが中学校最後の全国大会で爆発した。音威子府チセネシリコースで行われたクロスカントリー競技。土屋正恵さん(安代3年)が3キロクラシカル3位、3キロフリー10位に入賞し、土屋さんの尊敬する田中ゆかり選手(北海道・旭川大高1年、沢内中卒)が昨年まで3年連続で達成したW入賞を見事受け継ぎ、岩手県の強さを全国に証明した。

迎えた全国大会。2月2日のクラシカルは、競技開始時刻の気温はマイナス13度と厳しいコンディションだった。土屋さんは、直前まで十分にウォーミングアップをしてスタート。「最初のうりで体が動いたからいける」と積極的に飛ばし、コースを駆け抜けた。「滑り終えた時点は2位で、後からスタートした選手に抜かれていくかと思うと、掲示板を見るのができなかった。3位が決まった時はうれしくて涙が出た」と喜びに震えた。翌3日のフリーは「滑らない雪質でつまらなかった」そうだが、ピッチを刻む滑りで力走し、10位に入った土屋さん。有言実行で、シーズン前の目標を達成した。



土屋選手に憧れてスキー部に入った2年の小原菜奈未さん(写真左)と山本希歩さん(同右)とともに、東北大会のリレーでは学校初の2位に輝いた

得のいく滑りができた」と大会を振り返る。高橋洋之監督も「人の何倍も努力できる才能を持っている。諦めず積み重ねてきたものが花開いた」とたたえた。「入賞できたのは、仲間やコーチ、親や地域の人など支えてくれた人たちのおかげ。その人たちに恩返しできたと思う」と話す土屋さん。実は、今シーズンのリレーの試合のとき、昨年まで競技をした仲間、今シーズンは出場しなかった平船黎さんから譲り受けたレース用のウェアを着用。「一緒に頑張ってきた黎ちゃん、の分も滑ろうと思っていた」。全国大会ではクラシカルのときにも着用

得のいく滑りができた」と大会を振り返る。高橋洋之監督も「人の何倍も努力できる才能を持っている。諦めず積み重ねてきたものが花開いた」とたたえた。「入賞できたのは、仲間やコーチ、親や地域の人など支えてくれた人たちのおかげ。その人たちに恩返しできたと思う」と話す土屋さん。実は、今シーズンのリレーの試合のとき、昨年まで競技をした仲間、今シーズンは出場しなかった平船黎さんから譲り受けたレース用のウェアを着用。「一緒に頑張ってきた黎ちゃん、の分も滑ろうと思っていた」。全国大会ではクラシカル

し「黎ちゃんの力が欲しかったからかな」と笑顔を見せた。高校に進学してもスキー競技を続けるという。「フリーのスケイティングなど技術は課題がある。インターハイや国体で入賞して岩手の力になれる選手になるために、もっと練習を頑張らないと。そして、(1年生でインターハイ2冠に輝いた)ゆかりさんに一歩でも近づければ」と新たな目標を語る土屋さん。全国中学校大会後のスキー国体では、高校生の中に入りながら5キロクラシカルで8位に入る活躍を見せた彼女が、これからの岩手の女子クロスカントリーを引っ張っていくはずだ。

**市内の選手が男女リレー
同時入賞の原動力に**
クロスカントリー競技では、個人種目のほか、大会最終日の2月4日に都道府県対抗の団体種目・リレーが行われ、市内中学校の4選手が男女同時入賞に貢献した。
女子(4×3キ)は、第1走小原菜奈未選手(安代2年)が先頭と30秒以内の8位で戻ってくると、第2走土屋正恵選手が5人抜きで快走で3位に浮上。第3走で5位に後退したものの、アンカーの山本希歩選手(安代2年)が落ち着いて前を行く選手をかわし、前回大会より順位を2つ

上げて4位でフィニッシュした。
男子(4×5キ)には、アンカーで佐々木利幸選手(松尾3年、左写真)が出場。2位から5チームが1分以内の接戦の中、第3走から4位で受けた佐々木選手は、順位を落とすもの、前回7位を上回る6位で入賞した。



各種ウインタースポーツ大会で

市の選手大活躍

(各大会入賞者、敬称略) ●内の数字は順位

東北中学校スキー大会

(1月23～25日、田山クロスカントリースキー場)

■クロスカントリー
【男子】▽5キフリー⑦佐々木利幸(松尾3年)

【女子】▽3キクラシカル②土屋正恵(安代3年)▽3キフリー③土屋正恵▽リレー(3×3キ)②安代(小原菜奈未2年)、土屋正恵、山本希歩(2年)

■スペシャルジャンプ
④小林陵侖(松尾3年)
■コンバインド
①小林陵侖



東日本バイアスロン選手権大会・12.5キ。マスタートで優勝した大和田いつか選手。今シーズンは、W杯に出場しているほか、ジャパンカップでも優勝している

東日本バイアスロン選手権大会

(1月27～29日、田山バイアスロン競技場)

▽12.5キマスタート①大和田いつか(陸自冬戦教、松尾中卒)▽7.5キマスタート⑤工藤輝樹(八幡平市役所)▽スノーボードスプリント②大和田いつか④工藤輝樹

●県スキー技術選手権大会(1月28～29日、平石スキー場) ※関連記事24

【男子】▽総合①竹鼻建(安比スキー&スノーボードスクール)③小田島敦(八幡平市役所)④藤澤弘之(安比スキー&スノーボードスクール)
【女子】▽総合①藤澤利佳(安比スキー&スノーボードスクール)

●全国高等学校スキー大会(1月30日～2月3日、山形県山形市・蔵王クロスカントリーカラマツコースほか)

■クロスカントリー
【女子】▽リレー(3×5キ)④花輪(八幡優花3年、田山中卒)ほか
■スペシャルジャンプ(公開競技)
【女子】②小林諭果(盛岡中央2年、松尾中卒)

●全日本スキー選手権大会

■ジャンプ(2月7日、北海道札幌市・宮の森ジャンプ競技場)

【女子】▽ノーマルヒル⑧小林諭果
●FISワールドカップノルディックコンバインド

◆個人第14戦(2月5日、イタリア・バルディフィメナ)⑧永井秀昭(岐阜日野自動車、田山中卒)

●東北高等学校スキー選手権大会(2月10～12日、青森県大鰐町・大鰐温泉スキー場)

■クロスカントリー
【男子】▽リレー(4×10キ)⑤盛岡南(川野創平2年、安代中卒)ほか⑥盛岡農業(安保毅2年、田山中卒)、種市雄介(2年、安代中卒)、三上慧悟(2年、松尾中卒)ほか

県スポーツ少年団スキー大会

(2月11日、田山クロスカントリースキー場) ※3位までの入賞者

■アルペン(ジャイアントスラローム)
【男子】▽中学生②畠山圭太(安代)
【女子】▽小学生③齋藤あかり(安代)

■クロスカントリー(スプリント)
【女子】▽小学生②滝沢日菜(安代)▽中学生②小原菜奈未(安代)
■ジャンプ(小学生、スモールヒル)
【男子】①畠山温人(安代)②畠山夢叶(安代)③齋藤悟(田山)

●国民体育大会冬季大会(ぎふ清流国体)

■スケート(スピード)競技(1月27日～2月1日、岐阜県恵那市・クリ

スタルパーク恵那スケート場)

【男子】▽少年2000リレー④岩手(泉山雄一)盛岡工業高3年、田山中卒)ほか

■スキー競技(2月14～17日、岐阜県高山市・鈴蘭シャンツェほか)
◆クロスカントリー

【男子】▽リレー(4×10キ)▽成年⑥秋田(高橋涼)東京農業大2年、松尾中卒)ほか

【女子】▽クラシカル▽少年5キ⑤八幡優花⑧土屋正恵▽リレー(4×5キ)②秋田(八幡優花ほか)

■スペシャルジャンプ
【男子】▽少年③小林陵侖▽成年B④永井秀昭

◆コンバインド
【男子】▽成年A④永井健弘(天山リゾートクラブ、田山中卒)▽同B①永井秀昭③永井陽一(松尾中教諭)



スキー国体・コンバインド競技でそろって入賞を果たした永井3兄弟。(写真右から)成年男子B3位の長男・陽一選手、同優勝の次男・秀昭選手、成年男子Aの三男・健弘選手

3月は自殺対策強化月間

悩みを抱えた人支える地域のつながりを大切に

■詳しくは、市役所保健課保健係(☎・内線1154)まで。

国では、全国の月別自殺者数が最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定め、心の健康について呼び掛けをしています。

うつ病や自殺は誰にでも身近な問題

私たちは、普段ストレスに対して自分なりに対処して過ごしていますが、過度のストレスが重なり、対処できなくなると心の健康を損なうことがあります。最も多いのがうつ病です。

うつ病は、気分がひどく落ち込み、仕事、家事のほか、それまで楽しんでできていた趣味などもやる気が起こらず、生活への支障が出ることもあります。自分のことを責めたり、死にたいという気持ちが強くなることもあります。ストレス社会の中で生きる私たちにあって、誰もが心の健康を損なう可能性があります。

す。うつ病、自殺は特別なことではなく、誰にでも身近な問題です。

うつ病は、過度のストレスなどにより、脳のエネルギーが不足している状態。休養と治療で改善します。一生のうち15人に1人が経験するといわれるほど身近な病気です。

重要な役割を果たす「ゲートキーパー」

悩みを抱えている人は「言えない、どこに相談すればいいかわからない、相談するのときえ思い浮かばない」状況に陥っています。そのため、周囲の人たちが「ゲートキーパー」として活動することが重要になってきます。

ゲートキーパーは、自殺予防を理解し、悩んでいる人に気付いたとき、話に耳を傾け、必要な支援、相談につなげる役割を担います。

ゲートキーパー養成研修を開催しました

市は2月3日、西根地区市民センターでゲートキーパー養成研修を開催しました。民生委員や保健推進員など約80人が参加。自殺の実態報告やゲートキーパーについて説明を受けたほか、秋田県藤

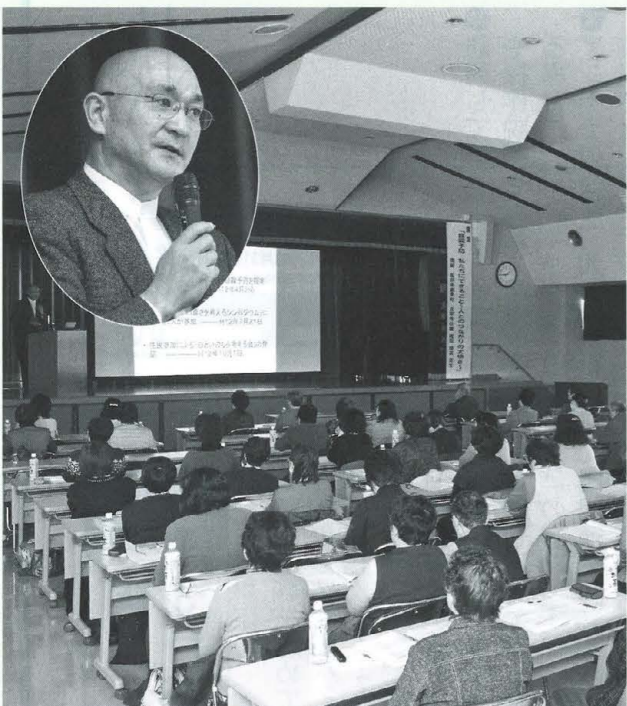
里町曹洞宗月宗寺住職で、「心といのちを考える会」会長などを務める袴田俊英さんが「自殺予防 私たちにできること」と題して講演しました。袴田さんは、藤里町が自殺で亡くなる人が、秋田県内で多かったことから、住民参加で発足した「心といのちを考える会」の活動を紹介します。同考える会では毎年、講演会やシンポジウムなどを開催しているほか、活動の中で、地域でのつながりが薄れてきていることを実感し、誰でも気軽に話せることができるコーヒースロンの「よってたもれ」や、男性が夜に集い合い、お酒を

飲みながら語り合う赤ちようちんの「よってたもれ」を開設しています。

また、昭和30年代までは自殺死亡率が全国平均以下でありながら、最近では、全国ワースト1位である秋田県。自殺死亡率が増加してきたことについて、「米作りが盛んな秋田県では、地域が力を合わせて米作りをしていたが、農業の機械化により、共同作業でなくても米作りができるようになった。収入を得るために働くことを優先させる政策を進めたことで、これまで地域で普通に行われていた助け合いが少なくなり、悩んでいる人が地域で孤立するようになってしまったからではないか」と語りました。

私たちにもできる自殺予防の活動として「①近所など顔の見える範囲で、②人と人とのつながりを大切にして、③悩みがあっても誰かに相談できるという関係を構築」することを挙げました。

最後に、悩んでいる人を救うためには、専門家だけではなく、一人一人が「お互いに助け合い支え合う」気持ちで関わってほしいという思いから、秋田県民運動として活動をしていると述べました。



約80人の参加者は、袴田俊英さん(上写真)の講演に耳を傾け、理解を深めました

アナログ放送3月31日に終了 「地デジ化」準備今すぐに

岩手県は、3月31日(土)でアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行します。地上デジタル放送を見るためには、UHFアンテナの準備と調整のほか、地デジ対応のテレビに買い替えるか、今使っているアナログテレビにデジタルチューナーやチューナー内蔵の録画機器を買い足すことが必要になります。

期限まであと1カ月。まだ地デジ化が済んでいない家庭は、今すぐ準備をしましょう。

臨時相談コーナーを開設しています

地デジ化をサポートしているデジサポ岩手では、地デジに関する相談に応じる「地デジ臨時相談コーナー」を4月まで開設しています。地デジの疑問や悩みを解決するチャンス。ぜひご利用ください。

■開設日
▽市役所本庁舎1階市民ホール 3月1日(木)、8日(木)、9日(金)、15日(木)、16日(金)、22日(木)、23日(金)、29日(木)、30日(金)、4月5日(木)、6日(金)、12日(木)

13日(金)、19日(木)、20日(金)、26日(木)、27日(金)
▽松尾総合支所1階市民ホール 3月2日(金)、14日(木)、28日(木)、4月11日(木)、25日(木)
▽安代総合支所1階市民ホール 3月7日(木)、21日(木)、4月4日(木)、18日(木)

■開設時間 午前10時から午後4時まで (4月27日(金)は正午まで)

※開設日には、デジサポカーが市内を巡回し、個別相談にも応じます。

低所得世帯に支援 チューナー無償給付

総務省では、経済的な理由などで地上デジタル放送を見ることができない世帯に、チューナーを無償給付しています。

■対象 NHK放送受信料全額免除世帯(東日本大震災で被災した世帯含む)、市民税非課税世帯
■支援内容(市民税非課税世帯は①のみ)
①簡易なチューナー1台を無償で給付(配送)

年度末と年度初めの日曜日は 本庁舎の窓口を臨時開庁します

市は、仕事などの都合で、年度末の日中に市役所で転入や転出の手続きをすることが難しい人のために、手続きが集中する年度末と年度初めの日曜日に、市役所本庁舎で臨時窓口を開きます。

■開庁日 3月18日(日)、25日(日)、4月1日(日)

■開庁時間 午前8時半から午後5時15分まで

■取り扱い業務 左表のとおり(業務内容について詳しくは、左表の各担当課まで問い合わせください)
※ほかにも毎週水曜日は、午後7時15分(4月からは午後7時)まで本庁舎の窓口延長をしています。

取り扱い手続き一覧

担当課	手続き内容
市民課 (☎・内線1134)	転入・転出など住民異動届の受け付け
	各種証明書の交付(戸籍謄抄本・住民票の写し、印鑑登録証明書など)
	印鑑登録、登録廃止の届け出
	所得証明書、納税証明書の交付
保健課 (☎・内線1142)	国民健康保険
	国民年金の異動
	後期高齢者医療保険
	乳幼児等医療費助成
児童福祉課 (☎・内線1177)	子ども手当
	児童扶養手当



岩手県では、2012年3月31日にアナログ放送を終了します

- ②訪問してチューナーの設置や操作説明を実施(希望する場合は)
- ③アンテナの改修、共同受信施設やケーブルテレビの改修経費の補助(必要な場合)
- 申込期限 3月31日(土)
- ※上記「臨時相談コーナー」で申し込み手続きができます。チューナーはその場で交付されます。

■詳しくは
▷地デジ臨時相談コーナー デジサポ岩手相談会グループ (☎019-604-2637)
▷チューナー無償給付 総務省地デジチューナー支援実施センター (NHK受信料全額免除世帯支援 = ☎0570-033840、市民税非課税世帯支援 = ☎0570-023724)

国道282号西根バイパス 3月16日から一部区間延長

県が工事を進めている国道282号西根バイパスの第2期工区(4.7km)の一部が開通します。今回開通するのは、県道岩手大更線との交差点から市総合運動公園までの約1kmの区間です。

■通行時の注意 バイパスと市道荒田線との交差点は右折できません。安全運転を心掛けてください。また、鹿角・松尾方面へは、今までとおり市役所前の国道282号を通ってください。詳しくは、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター(☎62-2888)まで。



新しい市農業委員会長に 松村勝彦さん(両沼)選任される

市農業委員会の臨時総会は2月3日、松尾総合支所で開かれ、新しい農業委員会長に松村勝彦さん(55)両沼IIが選任されました。松村さんは、現在2期目。任期は委員の任期が満了となる8月31日までです。



市農業委員会長に就任した松村勝彦さん

長年の交通安全活動の功績たたえ 小山田さんに交通安全賞「緑十字銀章」

交通安全全国国民運動中央大会は1月17日、東京都で開かれ、市交通指導隊安代地区隊長の小山田邦男さん(72)に浅沢第2IIが交通安全賞「緑十字銀章」を受賞しました。これは交通安全功労者や優良運転者に対して、警察庁長官と全日本交通安全協会から贈られるものです。

「自分一人でもらえたのではない。家族や隊員の仲間のおかげ」と喜びを語る小山田さんは「これからは若い隊員の育成にも力を注ぎたい」と誓いました。



「緑十字銀章」を受賞した小山田邦男さん

交通安全功労者として受賞を受けた小山田さんは、昭和49年に旧安代町交通指導隊に入隊。合併後は市交通指導隊安代地区隊長を務め、小学生への事故防止の啓発活動や各種イベントでの交通安全など、交通安全の推進に取り組んできました。



標的を狙ってボールを投げる参加者

体を動かして楽しく交流

市高齢者ニュースポーツ大会

市社会福祉協議会主催の高齢者ニュースポーツ大会は2月10日、市総合運動公園体育館で開かれました。高齢者約80人が参加。ボールを投げて標的に近づける室内版ペタングの「ニチレクボール」を参加者は楽しみながら交流を深めました。21チームが出場した大会は、五百森Aチームが優勝しました。毎年参加している土沢Bチームの佐々木京子さん(75)は「体を動かすだけでなく、みんなで集まって話をするのが楽しみ」と笑顔を見せました。

鼓動で地域つないで25年

松川一の宮太鼓結成25周年記念演奏会

松川一の宮太鼓(遠藤一子会長、会員60人)結成25周年記念演奏会は2月11日、姫神ホールで開かれました。同太鼓は昭和61年に結成し、県内外のイベントや海外公演などで演奏を重ねてきました。この日は、園児も保育園の創立を祝う遊戯を披露したほか、同太鼓の結成時に指導を受けた山口太鼓(宮古市)も友情出演。子どもから大人までの会員の勇壮な太鼓の響きが会場を包み込みました。なお、入場整理券の販売収益など16万円は、被災した宮古保育園に贈られました。



「鼓動は愛を生む 子ども達の今を幸せに！」をテーマに熱いステージを繰り広げる松川一の宮太鼓



「健康でたくましい東大更地区の子どもたちを育成しよう」と題して活動事例を紹介した東大更実践区

みんなで進める市の教振

市教育振興運動推進大会

市教育振興運動推進大会(同推進協議会主催)は2月18日、西根地区市民センターで行われました。市内各小学校区ごとに組織する11実践区から、同運動を推進する児童・生徒やPTA、教職員、地域住民など約250人が参加。東大更、平館、寄木の各実践区が、全県共通課題(家庭学習の充実、読書活動の推進)をはじめ、子どもたちを育てるために取り組んだ活動を発表しました。また、この日は市教育委員会児童生徒表彰も行われました(表彰者は4月号で紹介します)。



吹雪で視界が悪い中、ゴールに向かうクロスカントリー競技の出場者

一人一人の目標に向けて

三ヶ田礼一杯市ジュニアスキー選手権大会

三ヶ田礼一杯市ジュニアスキー選手権大会は2月12日、田山スキー場で開かれました。この大会は、1992年のアルペールビル冬季オリンピック複合団体に金メダルを獲得した三ヶ田礼一さんを顕彰して始まったものでことしで20回目。吹雪の中、延べ250人を超える市内小・中学生は、アルペン・クロスカントリー・ジャンプ競技で競い合いました。各種目の優勝者は次のとおり(敬称略)。
■アルペン(ジャイアントスラローム)
【男子】◇小学校▷1年=川又拓磨(安代)▷2年=山本友大(田山)▷3年=羽澤琢人(安代)▷4年=畠山陸翔(安代)▷5年=工藤優也(安代)▷6年=矢部魁一(安代)◇中学校▷1部=畠山圭太(安代2年)▷2部=羽澤駿之介(安代2年)
【女子】◇小学校▷1年=八幡優那(田山)▷2年=畠山一葉(安代)▷3年=北口舞奈(安代)▷4年=矢部凛香(安代)▷5年=瀬川優花(大更)▷6年=田口かんな(安代)◇中学校▷1部=田口かあら(安代1年)▷2部=安保星奈(田山1年)
■クロスカントリー
【男子】◇小学校クラシカル▷1年=安保翔(田山)▷2年=成田健太(田山)▷3年=畠山夢叶(安代)▷4年=黒澤英崇(安代)▷5年=畠山温人(安代)▷6年=角館智仁(田山)◇中学校フリー▷1部=石田航

大(安代2年)▷2部=黒澤雅英(安代2年)
【女子】◇小学校クラシカル▷1年=種市らん(安代)▷2年=伊藤瑠那(安代)▷3年=山本鈴華(安代)▷4年=関柚月(田山)▷5年=滝沢日菜(安代)▷6年=佐藤優有(田山)◇中学校フリー▷1部=山本希歩(安代2年)▷2部=小林美沙樹(田山2年)◇小学校リレー(男女混合)=安代A(畠山温人【5年】、工藤龍哉【6年】、小山田千笑【6年】、齋藤彩花【6年】)
■ジャンプ(スモールヒル)
【男子】◇小学校▷低学年=畠山夢叶(安代3年)▷高学年=畠山温人(安代5年)
【女子】◇小学校▷低学年=関柚月(田山4年)▷高学年=工藤稀凜(田山5年)



1秒でも速くを目指し、力強く飛び出すジャンプ競技の参加者

すなっぷギャラリー



「結成25周年とともに、杉の子保育園創立40周年などに花添えた園児のお遊戯」(2月11日、松川一の宮太鼓結成25周年記念演奏会)



「元宮古市産業振興部長の吉水誠さんが田老地区の復興への動きなどを紹介」(2月10日、市認定農業者松尾支部の記念講演会)



「事業所利用者に寿司を振る舞い」(2月6日、マックスパリュ西根店従業員が障害福祉サービス事業所・ポパイの家を訪れ)



「約350人の観客前で日頃の成果披露」(2月5日、西根地区芸能まつり)



「県内70種類のスイーツが勢ぞろい」(2月3~14日、道の駅にしねで、岩手スイーツフェア2012“絆”)



紹介者 工場長 上川原 勝仁 さん

▼どんな会社ですか
電子部品（マイクロコネクター）生産システムを開発して、独・と販売しています。従業員がものづくりを集中して取り組むことができる環境が整っている会社です。

▼どんな仕事をしていますか
プラスチック成形機の開発や生産管理などを行っています。また、設備販売先の社員が機械を操作できるように、実習の受け入れもしています。長いときは1年間受け入れます。

▼仕事で心掛けていることは
機械や道具に感謝の気持ちを持って接することです。毎日の仕事は、機械の掃除から始めます。

▼やりがいを感じる場所は
マイクロ製品を形にする技術に取り組んで、オリジナルの機械が完成したときは達成感がありますね。

▼今後目指していることは
当社の設備が世界中に行き渡り、お客さまのニーズに応える新しい技術を考えていくとともに、ものづくりの楽しさや仕事のやりがいを若い人たちに伝えていきたいです。

まちの企業 探検隊 ②⑥

(有)八幡平精工

企業人による会社紹介

所在地 田頭11-93
資本金 300万円
代表者 代表取締役 遠藤正規
設立 平成9年8月
従業員数 4人
電話番号 75-1603
事業内容 電子部品生産設備の開発
主な取引先 ヒロセ電機(株)ほか

◆胃・大腸がん検診行います
市が行う各種検診は、4月から7月にかけて行われます。4月の検診は西根地区・松尾地区の胃・大腸がん検診です。安代地区は、5月にセツト健診で胃・大腸がん検診を行います。日程は、3月中旬に各家庭へ配る「各種検診日程表」をご覧ください。また、広報はちまんたい「暮らしの情報カレンダー」にも掲載します。

①胃がん検診
▽対象 40歳以上（高齢者でバリウムの誤飲が心配される人には、安全に受診するため、医療機関で受診することをお勧めします）
▽検診方法 バリウムを飲んでエックス線造影検査

②大腸がん検診
▽対象 35歳以上（現在治療中や精密検査中の人は、主治医の指示に従ってください）
▽検診方法 自宅で2日分の便を検査専用容器に入れ検診会場に提出（便潜血反応検査）
大腸がん検診の検査専用容器は、市役所保健課、各支所職員がいる公民館・資料館のほか、各地区の保健推進員の



家にあります。検査専用容器は、今回から新しい形の容器になるので、自宅に古い形の容器をお持ちの人は、市役所保健課にお返しください。

■検診は忘れずに受診を
昨年は、震災の影響により、市で行う各検診の受診者が大幅に減少しました。毎年、がん検診を受診した人の中に、がんが早期発見が大切です。検診対象の人は必ず受診しましょう。ことしは秋の追加検診を実施する予定はありません。

なお、ことし市の助成で人間ドックを受ける人は、市で実施する各種検診を受ける必要はありません。受検票が届いた人は、市役所保健課にお返しください。

保健のひろば

☎・内線1151 市役所保健課

環境のみらい

☎・内線1137 市役所市民課



不法投棄は犯罪です

介護のココロ

☎・内線1181 市地域包括支援センター

◆高齢者に関することは、市地域包括支援センターにご相談ください

市役所長寿社会課内の市地域包括支援センターは、地域に住む皆さんからのさまざまな相談や悩みを聞く相談機関で、どなたでも利用できます。

例えば、次のような悩みはありませんか。

- ①介護保険を利用したいのですが、どうすればよいのでしょうか。
- ②要支援に認定されたのですが、どんなサービスが利用できますか。
- ③一人暮らしなので、もしも将来認知症になったら、預貯金の管理が心配です。
- ④認知症の親を介護していますが、言うことを聞かないので、つい怒鳴ってしまいます。このような時は、市地域包括支援センターへお気軽にご相談ください。

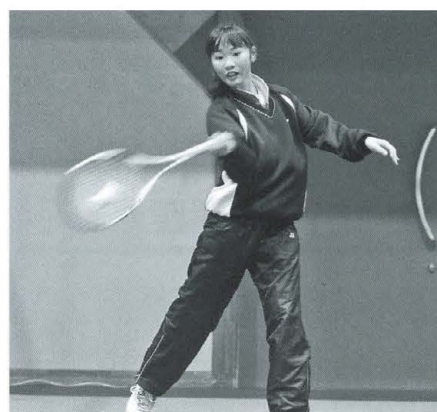


◆ゴミは適正に処理しましょう

例年多くの不法投棄が報告されます。不法投棄は犯罪です。正しく処理願います。また不法投棄されないよう、自分の所有地を定期的に見回りましょう。

◎不要になったテレビは適切に処分してください
テレビのアナログ放送は3月31日で終了します。不要になったテレビは、リサイクル料金などを支払い、次の方法で処分してください。

- ①買い替えた小売店に処分を依頼
 - ②自宅まで引き取りを依頼（日通家電リサイクルセンター、☎019-623-4144）
 - ③自分で搬入（郵便局でリサイクル券を購入し、アルプス物流盛岡営業所＝盛岡市玉山区＝に搬入）
- ◎引っ越しゴミはごみ集積所に出せません
3月や4月は引っ越しなどに伴い、ごみが多く発生する時期です。粗大ごみや一度に大量に発生したごみは、ごみ集積所に出せません。清掃センターに直接搬入するか、市内許可業者に依頼してください。



練習ではひたすらボールを打ち込みます

No. 21 松尾中学校 ソフトテニス スポーツ少年団

松尾中学校ソフトテニススポーツ少年団は、平成17年に設立されました。昨年度は、県中総体で個人・団体ともベスト16に入りました。

現在は、1年生の女子12人が所属。中学校からソフトテニスを始めた団員ばかりですが、団OGの高校生や社会人の人たちと一緒に、ストロークなどの基礎練習や実践形式の練習で、大会を乗り切るための技術や精神力アップに取り組んでいます。



ソフトテニスの楽しさを日々感じている団員

活動を通して、一生懸命練習すること、うまくなっていくことの喜びを感じてもらいたいです。4月に松尾中学校に入学する人は、ぜひ入団してください。

■練習日時・場所
【11~4月】週3回、午後6時から8時まで アリーナまつお
【5~10月】週3回、午後6時から8時まで 松尾テニスコート・アリーナまつお

詳しくは、同スポーツ少年団事務局・田村真祐子（☎74-4588）まで。

健やかに

(太字は男の子)

- 遠藤 陽仁(悟・友紀/中村)
佐藤 陽真(貴紀・さくら/浅沢第1)
田村 典慈(信幸・裕美子/松久保)
高橋 侑隼(正明・美香/上平笠)
濱畑 夢珂(茂・綾那/両沼)
高橋 かりな(清剛・敏恵/寄木新田)
高橋 温翔(義芳・温子/高宮)
立花 碧男(亘・有希/南平笠)
高橋 智華(智・春海/下町三区)
高橋 雪乃(和美・亜由美/両沼)
角掛 歩(洋一・静香/高宮)
伊藤 心那(達也・有美/松尾)
高橋 柁羽(和人・美由季/中沢)

お幸せに

- 小笠原 豊和/盛岡市
高橋 奈美 /わし森

安らかに

- 澤田 クラ 85歳 荒屋
齊藤 ミネ 82歳 日瀬通
田口 ナミ 95歳 荒屋新町
松村 市郎 81歳 両沼
佐藤 哲子 78歳 浅沢第1
古川 喜悦 79歳 中松尾
金澤 美枝子 62歳 南寄木
伊藤 富子 69歳 駅前二区
伊藤 タカ 96歳 中平笠
工藤 勝治 79歳 北村
藤原 キサ 86歳 小福田
高村 春雄 69歳 田山上

- 佐々木ヨシエ 87歳 土沢
伊藤 サヨ 84歳 五百森
須藤 郁雄 80歳 下町三区
小山田 カン 90歳 浅沢第2
羽澤 康夫 79歳 五日市2区
伊藤 ミワ 90歳 柏台三丁目
田村 留三郎 83歳 寺田
小林 キヨミ 83歳 梶沢
工藤 富士榮 62歳 金沢
種市 慶四郎 89歳 秋葉
伊藤 スミ 90歳 南寄木
畠山 仁太郎 81歳 荒木田
三浦 松太郎 81歳 平長
佐々木 進 83歳 山崎
中田 マツ 73歳 薬師
田村 キエ 92歳 時森

※掲載は届け出順で、届け出人が希望した場合だけ載せています(敬称略)。

■人口の動き【1月31日現在 ()は前月比】

Table with 3 columns: 地区, 人口, 世帯数. Rows include 西根地区, 松尾地区, 安代地区, 合計, 男性, 女性, 出生, 死亡, 転入, 転出.

■交通事故件数など ※累計は1月からの合計

Table with 3 columns: 項目, 1月, 累計. Rows include 人身事故, 物損事故, 負傷者, 死者, 飲酒運転, 火災, 救急.

No.78

広報クイズ
3月1日号の問題

全国中学スキー大会
小林陵侑選手の2冠
は大会史上何人目?

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢」を書いて応募してください。
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき 〒028-7192(住所不要)
☆FAX 75-0469 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
◎応募期限 3月27日(火) 消印有効
◎第77回の正解 「(上限)100万円」
◎応募者数 15人 ◎正解者数 15人
◎当選者 佐々木千尋さん(大更)、田村賀津子さん(野駄)、久世教枝さん(柏台)



MUSEUM 博物館 だより

博物館 TEL63-1122・FAX63-1123

資料の保護管理と活用

◆博物館資料の保全

博物館では、展示資料をはじめ、寄贈、寄託や購入などにより、これまで約7,500点余りの資料を収蔵管理しています。資料登録は本年度ではほぼ終了しましたが、資料の中には汚損・破損や褪色したものなど保存状態がよくないものがあります。博物館は、それらの資料を安全に保護するため、いろいろな方法でその回復に取り組んでいます。

◆刀剣研磨

刀の手入れは、1カ月に1回は行っていますが、過去にモノを切った痕が残っていたり、あるいは塵芥が付着したりしているところから錆が発生します。錆のひどいものは刀研師に頼みます。本年度は、古刀(鎌倉時代から室町時代に作られたもの)1振りを研ぎに出しました。古刀は無銘ですが、県内でも数少ない貴重なものです。4月から展示予定です。



刀研師(徹斎)阿部義貞さん

過去にモノを切った痕が残っていたり、あるいは塵芥が付着したりしているところから錆が発生します。錆のひどいものは刀研師に頼みます。本年度は、古刀(鎌倉時代から室町時代に作られたもの)1振りを研ぎに出しました。古刀は無銘ですが、県内でも数少ない貴重なものです。4月から展示予定です。

◆絵図面の裏打ち

博物館で保存している資料の中には、大きくてそのままでは収蔵できないものもあります。紙製のものは折りたたみますが、この状態では裂けたり汚れたりするので、裏打ちをして保護します。本年度は昨年度に引き続き、旧荒沢村地引絵図面(5紙×3紙)の裏打ちを行いました。3月3日(土)から展示予定です。

◆資料の活用と普及

館蔵資料には写真なども含みますが、保管するだけでなく展示などにも活用しています。さらに、普及という意味で本年度は「近くてなつかしい写真」集を発刊しました。販売はしていませんが、市立図書館や公民館に配架していますので、ご覧ください。

LIBRARY 図書館 だより

図書館 TEL75-1700・FAX75-1701

ことしいちばん読まれた本

ようこそ図書館へ

2月4日、5日、12日の3日間、三歳児図書館ふれあい事業を開催し、親子119人が参加しました。保護者が読み聞かせの講話を聞く間、子どもたちは別室で絵本の読み聞かせや、紙芝居、パネルシアターなどを楽しみました。



好きな本を選ぶ子どもたち

会の終わりには、各自に1冊ずつ絵本が手渡され、図書館との新たな出会いの場となりました。

あみぐるみ教室作品展

市立図書館で活動する「あみぐるみ教室」の皆さんによる作品展です。かわいいあみぐるみを手にとってご覧ください。

- 期日 3月17日(土)、18日(日)(=午後3時まで)
■場所 市立図書館会議室

23年度ベストリーダー発表

- 【一般】
①謎解きはディナーのあとで/東川篤也
②ちよちよら/畠中恵
③1Q84 BOOK 1/村上春樹
【児童書・絵本】
①かいけつゾロリカレーVS. ちょうのうりよく/原ゆたか
①かいけつゾロリのだ・だ・だだいぼうけん!後編/原ゆたか
③かいけつゾロリきょうふのようかいえんそく/原ゆたか
(平成23年3月~24年2月調べ)



「謎解きはディナーのあとで」東川篤也著(小学館刊)



「かいけつゾロリ カレーVS. ちょうのうりよく」原ゆたか著(ポプラ社刊)

**西根地区市民センターで
平館高校美術展を行います**

平館高校美術展を開催します。
■日時 3月17日(土)午後1時から
 20日(火)午後4時まで
■場所 西根地区市民センター
 詳しくは、平館高校美術部顧問
 熊谷 (☎74-2609) まで。

**戦没者遺族への弔慰金
請求期限迫っています**

平成17年4月から21年3月まで
 に、公務扶助料や遺族年金などの
 受給者が亡くなるなどの要件を満
 たす遺族に対し、特別弔慰金が支
 給されます(対象者と思われる人
 には、案内を郵送しています)。
 請求期限までに請求願います。
■請求期限 4月2日(月)
■請求先 市役所地域福祉課
 詳しくは、市役所地域福祉課福
 祉総務係 (☎・内線1162) まで。

**シベリア戦後強制抑留者
特別給付金請求忘れずに**

シベリア戦後強制抑留者に対す
 る特別給付金の請求期限が迫っ
 ています。該当者で請求してい
 ない人は、期限までに請求願
 います。
■対象者 戦後強制抑留者で、平
 成22年6月16日現在存命し、日
 本国籍を有する人(同日以降に死
 亡した人は、その相続人)
■請求期限 3月31日(土)消印有効
 請求など詳しくは、独立行政法
 人平和祈念事業特別基金事業部
 特別給付金認定担当 (☎0570-059-
 204または☎03-5860-2748) まで。

**陸上自衛隊岩手駐屯地の
音楽隊による定期演奏会**

第26回陸上自衛隊岩手駐屯地音
 楽隊定期演奏会を開催します。
■日時 3月17日(土) 午後3時か
 ら5時まで(午後2時開場)
■場所 盛岡市民文化ホール「マ
 リオス」
■出演者 岩手駐屯地音楽隊、第
 9音楽隊、秋田駐屯地音楽隊、巖
 鷲太鼓部(予定)
■入場料 無料
 詳しくは、陸上自衛隊岩手駐屯
 地司令業務室 (☎019-688-4311、
 内線584) まで。

**火災から命と財産守ろう
春の火災予防週間を実施**

3月1日(木)から7日(水)までの1
 週間、「消したはず 決めつけな
 いで もう一度」を統一標語に、
 春の火災予防週間が実施されます。
 八幡平消防署や各出張所では、
 防火座談会や初期消火訓練を随時
 行っていますので、希望する職場
 や団体はお問い合わせください。
 詳しくは、八幡平消防署(☎76-
 2119)、松尾出張所(☎74-2119)
 安代出張所(☎72-2119) まで。

**交通事故に伴う保険の
相談に無料で応じます**

交通事故に伴う自動車保険など
 の相談に無料で応じています。
■日時 平日の午前9時から正午
 まで、午後1時から5時まで
■相談先 盛岡自動車保険請求相
 談センター (☎019-651-4495)

**高齢者のケアを支える
心のつながり考えよう**

高齢者ケアに取り組む方策を話
 し合うシンポジウム「ケアを支
 える心のつながり」を開催します。
■日時 3月8日(木)、午後1時か
 ら4時半まで(参加費無料)
■場所 あえりあ遠野(遠野市)
 申し込みなど詳しくは、東北公
 益文科大学公益総合研究センター
 (☎0235-29-0555) まで。

**青年国際交流事業に
参加してみませんか**

内閣府では、青年国際交流事業
 の参加者を募集しています。
■種類 東南アジア青年の船、世
 界青年の船、日・中青年親善交流、
 日・韓青年親善交流、国際青年育
 成交流事業(ドミニカなど)
■応募期限 3月23日(金)
■説明会 3月10日(土)、午前10時
 から、アイーナ6階(盛岡駅西通)
 応募方法など詳しくは、県庁青
 少年・男女共同参画課(☎019-
 629-5346) まで。

**子ども英会話教室の
4月入学生徒を募集**

子ども英会話の4月入学生徒を
 募集します。
■対象 4歳から中学生まで
■料金 月4,000円(教材費別途)
■場所 月・火曜日=大更教室、
 水~土曜日=クラリー牧場(土曜
 日はファーム体験もできます)
 詳しくは、佐々木晶(☎080-
 6028-5516) まで。

**あなたが築く明日の日本
国家公務員を採用します**

国家公務員採用試験を行います。
◎総合職試験(院卒者・大卒程度)
■応募期間 インターネット4月
 2日(月)から9日(月)まで(郵送・持
 参は4月2日(月)・3日(火)消印有効)
■1次試験日 4月29日(日)
◎一般職試験(大卒程度)
■応募期間 インターネット4月
 10日(火)から19日(木)まで(郵送・持
 参は4月10日(火)・11日(水)消印有効)
■1次試験日 6月17日(日)
◎一般職試験(高校卒業程度)
■応募期間 インターネット6月
 26日(火)から7月5日(木)まで(郵
 送・持参は7月2日(月)から10日(火)
 まで、消印有効)
■1次試験日 9月9日(日)
 詳しくは、人事院東北事務局第
 二課試験係(☎022-221-2022) まで。

**少年鑑別所などで働く
職員の採用試験を実施**

法務省専門職員(人間科学)の
 採用試験を実施します。
■職種・受験資格 ①矯正心理専
 門職・②法務教官・③保護観察官
 =21歳以上30歳未満または、21歳
 未満で大学(②③は短大程度以上)
 を卒業か来春卒業見込みの人。④
 法務教官(社会人)=40歳未満の人
■応募期間 4月2日(月)から3日
 (火)まで(消印有効、インターネッ
 トは12日(木)まで)
■1次試験日 6月10日(日)
 詳しくは、人事院東北事務局第
 二課試験係(☎022-221-2022) まで。

**住宅を新たに取得する
被災者に税制上の支援**

東日本大震災で所有する住宅に
 住めなくなった人が、新たに住宅
 を取得・増改築した場合、所得税
 の住宅ローン控除の借入限度額や
 控除率が引き上げられます。

居住年	借入限度額(万円)	控除期間	控除率(%)
H23年	4,000		
H24年	3,000→4,000	10年間	1.0→1.2
H25年	2,000→3,000		

この控除は、大震災で失った住
 宅のローン控除と重複適用できる
 ほか、控除しきれない分は、翌年
 度の個人住民税から減額します。
 詳しくは、盛岡税務署(☎019-
 622-6141) まで。

**農業担い手指導員として
あなたの知識役立てよう**

市は、農業担い手指導員(非常
 勤職員)を募集します。
■業務内容 農業者(担い手)の
 育成や経営改善指導。集落営農組
 織の育成指導。新規就農者育成や
 認定農業者組織活動支援など
■要件 満18歳以上でパソコンの
 基本操作ができる人(要普通免許、
 営農指導などの実務経験者優遇)
■人数 1人
■期間 1年以内(週4日勤務)
■選考 3月下旬、市役所で面接
 による選考を実施(別途通知)
■応募方法 市販または市農業振
 興支援センターで配布する履歴書
 に必要事項を記入し提出
■応募期限 3月15日(土)消印有効
 詳しくは、市役所農業振興支援
 センター(☎・内線1600) まで。

INFORMATION

お知らせ

詳しくは各担当、各機関にお問い合わせを
八幡平市役所 ☎76-2111
松尾総合支所 ☎74-2111
安代総合支所 ☎72-2111
 ホームページはこちら
<http://www.city.hachimantai.lg.jp/>



【広告】

あなたのまちのホームドクター
すご動物病院
 2011年4月開院
 滝沢村滝沢字葉の木沢山497-15
 TEL:019-681-8100
<http://www.sugo-animal-hospital.com>
 IGR菓子駅から徒歩10分

広報はちまんたい 広告募集中

広告の区分	市内に店舗を置く 事業所(税込み)	そのほかの事業所 (税込み)
1号広告 (本号カラー)	1種 1枠11,056円	1枠12,285円
	2種 1枠22,113円	1枠24,570円
2号広告 (本号2色)	1種 1枠9,582円	1枠10,647円
	2種 1枠19,164円	1枠21,294円
3号広告 (お知らせ号)	1種 1枠9,582円	1枠10,647円
	2種 1枠19,164円	1枠21,294円

詳しくは、市役所総務課広報統計係(☎・内線1218)まで。

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

八幡平市共通商品券5%プレミアム付き好評発売中!
**現金10,000円が
10,500円分の商品券に!**
 (額面500円×21枚 10,500円分)
 ※1万円ごとに5%のプレミアムが付きます。
 住宅エコポイント及び市住宅リフォーム助成に対応!
 販売およびお問い合わせ先: 八幡平市商工会(TEL76-2040)、松尾支所(TEL74-3020)、安代支所(TEL63-1001)

日ごろのお買い物、お中元、お歳暮、入学・卒業のお祝い、景品、お礼、お見舞いなどに幅広くご利用いただけます。
 八幡平市共通商品券とは
 額面500円で1枚から市内外どなたでも購入することができ、有効期限は、ご購入日より6か月以内に市内230以上のお店で使用することができます。

八幡平いにしえの宝

(市内の貴重な文化財や自然などを紹介します)



フクジュソウ (福寿草)

フクジュソウはめでたい花として、園芸種は正月用盆栽に松や竹、梅などの寄せ植えとして古くから重用され、もっとも関心の高かったのは江戸時代で、100品種を越えたといわれています。

この地方の野生種は、雑木林などの雪の下で芽を伸ばし、雪が解けて早春の太陽の光を受けると、一気に光沢の強い黄金色の花を開きます。開花は3月下旬頃から始まり、雪が解け終わるまで続きます。また、朝開いた花は夕方には閉じますが、これが1カ月ほど繰り返されます。開花とともに徐々に茎と葉が伸長し、草丈は15～25センチになり、葉は細かく切れ込み、ニンジンの葉に似てきます。花の大きさは約3センチで、花弁は10～15枚、金平糖状の果実を付けます。雪国の春を彩ったフクジュソウも、樹木が若葉を広げ、日差しが強くなる頃には葉が黄ばみ始め、やがて地上部は姿を消し、地下の根茎で翌春を待ちます。

以前この花はよく見かけられましたが、生育地が狭まったことや個体数の減少で、県の絶滅危惧種に指定されています。幸いなことに田山地区の矢神岳山麓では、今も広い範囲でたくさんのフクジュソウが咲き誇っていますが、常緑針葉樹林の発達や低木類の繁茂が生育の妨げになっているようです。

地方によってフクジュソウは「土マンサク」と言い、マンサクを「木マンサク」と呼んで区別し、これらの花が一斉に、早く咲くと、その年は豊年満作になるといわれていました。

(文・八幡平市文化財保護審議会委員 八幡輝夫)

《参考文献》岩手の自然をたずねて(菅原亀悦編著、1983年・第一法規)、

いわてレッドデータブック-岩手県の希少な野生生物(岩手県生活環境部自然保護課編集、2001年・岩手県)

編集後記

数年前から荒屋地区で取り組んでいる雪だるまづくり。今年も地区内のあちこちに登場しました。アニメキャラクターや彫刻家の芸術作品のようなもの、巨大サイズから普通サイズまで思わずニコツとしてしまう作品ばかり。機会があったらぜひ見て欲しいです。でも、この広報が発行される頃には解けてしまっているかも。雪だるまにとっては寒い方が良いでしょう。やっぱり暖かい春が待ち遠しいです。(齋藤)

2月12日の三ヶ田礼一杯市ジュニアスキー選手権大会は、今シーズン取材したスキー大会で、一番の悪天候でした。参加した選手はもろろん、応援に訪れた人や競技役員の方皆さん、お疲れ様でした。吹雪で前が見えない中、泣きながらゴールに向かう子どもたちとそれに声援を送る家族の姿を見て、このような地域の盛り上がりから、今回特集した小林君や土屋さんのような選手が生まれるんだと改めて思いました。(北口)